

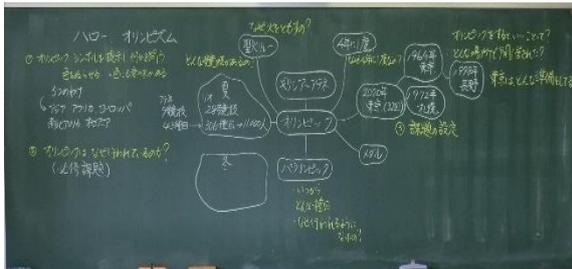
平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立厚別西小学校 第5学年 42名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○オリンピックの価値「オリンピズム」を理解し、自分の日常生活に生かすことができる。(学び方・ものの考え方・自己の生き方) ○オリンピックについての課題を設定し、パソコンを用いて調べたことをまとめ、「オリンピズム」について理解を深めることができる。 (課題設定能力・問題解決能力・情報活用能力) ○オリンピックの技を見たり、体験・エピソードを聞いたりすることを通して、スポーツの意義や価値に気付くことができる。 (学び方・ものの考え方・自己の生き方)
5 取組内容	○指導計画【11時間扱い】 ・課題を決める。(1) ・オリンピックについて知ろう。(1) ・オリンピックからオリンピック競技を学び体験しよう。(4) ・オリンピックについて自分で立てた課題を追究しよう。(2) ・調べたことをワード文書にまとめよう。(3) ○取組の様子 ・課題設定 オリンピックシンボルの色や形を考えることで、オリンピックについての学習に対する見通しをもった。オリンピックについて知っていることをウェビングで出し合い、そこから更に知りたいことを個々の課題とした。



	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックについて知ろう。 スピードスケート選手、神谷衣理那さんの平昌オリンピックでの活躍の映像を見ることで、スピードスケートという競技について理解し、体験に対する意欲をもった。 ・オリンピックからオリンピック競技を学び体験しよう。 月寒体育館で、神谷選手にスケートを指導していただく。また、オリンピックの実際の滑りを見たり、オリンピックでの体験を聞いたりすることで、スポーツの意義や価値について考えた。  <p>自分の立てたオリンピックについての課題を神谷選手に質問した。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックについて自分で立てた課題を追究しよう。 ・調べたことをワード文書にまとめよう。 「オリンピックはなぜ行われているのか」を課題とし、その他に個々の課題については、オリンピック関連のHPで調べ、まとめた。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育において、どのような子どもの育ちを大切にするのかを考え、指導計画を立てた。子どもが、体験と合わせて調べ学習を進めることで、オリンピックが、ただのスポーツの大会ではなく、平和を願うことや「フレンドシップ」や「リスペクト」などの価値を伝える意味のあるものだということに気付いた。 ・オリンピック選手の実際の滑りや指導を受けることで、子どもは、スポーツの意義を改めて感じた。また、冬季オリンピックが行われたばかりということもあり、映像で競技を見ていた子どもも多く、意欲的に学ぶことができた。
7 実践において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定の後に体験、まとめとする学習展開で、子どもの学習への意欲が持続できるように単元計画を立てた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の児童にしてもスケートは、難しいように感じた。スケートを履いた状態で静止していることができないため指導を聞いて、滑りに反映させるということができなかった。また、体育館内で落ち着いて話を聞くことのできる場所が少なく、集中することが難しかった。
9 今後の取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値を、日常生活に生かすことができるようにしていく。